

財団だより

第138号

2013.6

# 多摩川



Photo & Text  
遠藤 穎彦 (Hidehiko Endo)  
渋谷区在住

## ■ 浅川合流点周辺 ■

前号の平山橋付近を取材した折りに、平山城址公園駅でおりて浅川を探し回った経緯があったので、今回は方向感覚を誤らぬ様に平山城址公園・南平・高幡不動の手前の百草園で降りてから北に向かった。

最初の川は程久保川、次が浅川とすれば、その浅川の堤を下れば程久保川・浅川・多摩川の合流点になる。

程久保川ワンドを見下ろしながら府中四谷橋の中程まで進んで合流した多摩川の流れを真上から見下ろすと、その雄大な流れに心を洗われる様な思いでした。

## Contents 目次

巻頭言 .....	2
特別寄稿 .....	3
多摩川スケッチ散歩 .....	4
多摩川に学ぶ .....	6
多摩川散歩 .....	7
歴史・多摩川 .....	8
インフォメ・多摩川 .....	9

## 巻頭言

### 身近な川の調査から学んだこと



東京農工大学名誉教授  
日野市環境情報センター長

小倉 紀雄

水環境の保全や修復のために市民が主体的に活動する機会が増えている。このような活動の一つに「身近な水環境の全国一斉調査」があるが、この調査が始まるまでには20年の時間と経験が必要であった。1984年、多摩川支流の浅川流域で次世代を担う子どもたちへきれいな浅川を残すために活動を始めた婦人グループとの出会いがあった。婦人グループは身近な川の水質を調べ、汚れの原因を明らかにし、さらに木炭を用いた手作りの水質浄化を始めた。このような一連の活動は全国の市民による水質の調査と木炭による水質浄化の活動へ繋がっていったのである。

1989年に浅川、野川など多摩川水系の18河川・118地点で市民による「身近な川の一斉調査」が行われ、結果は水質汚染マップとしてまとめられた。この調査が軌道に乗り、また筆者が大学を定年退職し、時間的な余裕ができたこともあり、調査を全国に広げることを模索した。そして2004年に国土交通省との連携により「身近な水環境の全国一斉調査」を実施することができ、今年で10年目を迎えた。

全国調査を実施するにあたり最も考慮したことは多くの市民が参加しやすいしくみを作り、簡易法による水質測定の精度を確保することであった。このために、20年間の水質調査の経験と実績を考慮し、統一した調査マニュアルと調査機材を作成した。調査項目は生活雑排水などによる汚れの指

標となるCOD(化学的酸素要求量)および水温とし、環境月間である6月の第1日曜日に実施することにした。

結果はCODの測定値を3段階に分け、色別に地図上に表示し、一目で結果がわかるように心がけた。全国マップの他にも多摩川流域や浅川流域などでは独自に河川流域の水質マップが作られている。2004年から2012年まで9年間に参加者は延べ6万5千人、調査地点は4万7千地点に達している。調査は年に1回で、結果は天候などにも影響されたが、同一地点で9年間も継続すると興味ある成果が得られ、調査から多くのことを学んだ。

浅川流域でみると、2004年に87地点で調査が行われ、水質のきれいな地点(COD3mg/L未満)の割合は7.5%であったが、2012年には調査地点は171地点、水質のきれいな地点の割合は65%に達した。水質は良好になり、これは流域の下水道の普及と密接な関係をもつことがわかった。川をきれいにしたいとの市民意識の向上も考えられるが、下水道の普及が水質の改善に大きな役割を果たしているといえる。その他に長年、川を見ていると水量の減少傾向や河川景観などの変化などに気づいた。一斉調査のような活動を通し、多くの人たちが環境に関心を示し、良好な環境を保全する意識が高まることを期待したい。



## 特別寄稿

### 雲取山と山小屋



雲取山荘 主人  
新井 信太郎

私が初めて雲取山に登ったのは昭和23年7月でした。途中白岩の山頂で夕立に会い道に迷って芋の木ドッケの道に入ったのを覚えています。150人収容の立派な山小屋でした。夕食は半豪で焚いてもらい、缶詰のおかずで食べました。

帰りも同じ道でしたが、あっという間に三峰神社に降りてしまいました。

その後、私は山小屋生活に入り、現在に至っております。登山道も指導票も昔から見れば立派になったし道は、今も昔も変わっていないのです。林道については新しく出来た道は数本ありますが、新しく山を削って作った道は土砂崩れ箇所がおこり通行止めになっている箇所もあります。

昔からの登山道は台風や大雨、大雪の跡、山小屋の人達が見回って登山者が安全に通れるようにしています。山小屋もそうですが雨や大雪が降らないと水が枯れてしまいます。

木も草も自然の物はすべて雨が降らなければ生きていけないのです。積雪の多い年の春は草花や木の花がきれいに咲く事が多いようです。

よく登山者が枯れ木が多いと言わ

れますが、昔は、30年ぐらい前まではどこの山小屋でも飯を炊いたりお湯を沸かしたり、冬の暖房もすべて枯れた木を山の持ち主から払い下げてもらい伐採して燃料に使っていました。

その後枯れ木でも切ってはいけないということになってからは、小屋の周りに枯れ木が出来ても薪材として切る事はないのです。

木に囲まれている山の中でも、化石燃料を燃やしているのだから(ガソリンや石油、プロパンガス)高いのもうなずけます。それに木が枯れたのが目につくと言う人は、木々の生い立ちをあまりよく知らないのではないのでしょうか…。どんな立派な木でも枯れない木はないのですから。雲取山周辺の原生林はだいたい400年ぐらい全部と言っていいほど枯れてしまっています。私は400年も生きていられないので、確かめることはできませんが…。昔、枯れて払い下げられた大木の年輪を調べていたのですが、だいたい400年前後で枯れていました。これは木の太さや、木の種類でも多少の年代は違いますが、ほとんど400年前後でした。

自然は大木が枯れそうになると、子孫を残そうと大木の枝が枯れて太陽の光が地面に差し込んでくると、今まで土の中で眠っていた種が芽を出して何千という小さい芽が生えてくるのです。

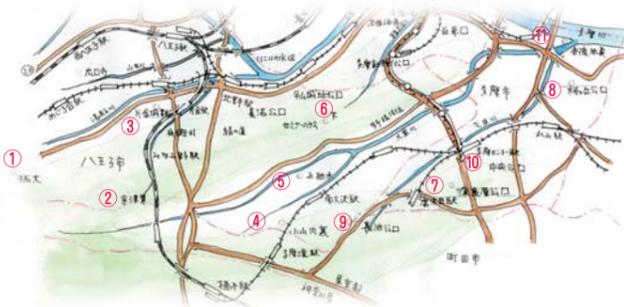
そして木が枯れると同時に、芽が争ってのびて山肌が見えなくなるほどの数になるのです。20年30年と経つうちに大木になる木が決まってくるのです。この繰り返して原生林の山ははげ山になる事はないと言われております。



# たまがわスケッチ散歩 (10)

## 大栗川流域

大栗川流域にある多摩ニュータウンは稲城、多摩、八王子、町田市をまたぐ約2800haに及び日本最大級のニュータウンで約20万人が暮らしている。開発当初の昭和40年ころは大規模造成で自然地形は壊され、エレベーターもない羊羹型の団地が整列してたてられていたが、現在の造成は自然地形を残しながら計画的に開放広場を作り、快適な住空間となっている。鉄道も整備され、都心まで約35分で行くことができ道路網も人車分離が確実にでき理想的な住空間となっている。



**① 湯殿川源流**  
浅川の支流湯殿川の源流は高尾山の南 初沢城跡の裏にある。高尾駅より館ガ丘団地行きのバス終点より徒歩約15分都心より移転してきた拓殖大学の構内にあった。キャンパスの中のアースダムによりせき止められた調整池がその源流で周囲はよく整備されている。疲れた頭脳を休めるには絶好の雰囲気がある。

**② 宇津貫緑地公園**  
横浜線八王子みなみ野駅よりバス宇津貫行きの終点下車、軽工業団地の間を徒歩約20分。まるで別世界のような自然がそのまま残るサンクチュアリー。自然堤防のような緩傾斜の土手の下はほたる池と呼ばれる池。その奥には放棄農地となった棚田があり住民ボランティアが管理する里山となっている。右上の立派なログハウスは空き家で何に使うかわからない。



**③ 片倉城址公園**  
京王片倉駅とJR 横浜線片倉駅の間で国道16号沿いにある城址公園は鎌倉時代の築城とされ、その城主は誰だか定かではないとのこと。しかし、本丸と二の丸の間には空堀が掘られ、険しい坂の途中はカタクリの群生地や菖蒲園、水車小屋、北村西望の彫刻のある池などよく整備された公園となっている。



**④ 小山内裏公園 (こやまだいりこうえん)**  
京王相模原線南大沢駅と多摩境駅の間的小山内裏トンネルの上でできた新しい公園。ほとんど全域はサンクチュアリーとなって立ち入ることはできないが、その周囲はこのような大田切池や戦車道あるいはアユの道という散歩道。池の中の木立は元の杉林の跡。周辺のマンションは近代的で若い住民が多く散歩道を通る人はみな若く中にはユニフォーム姿のクラブのような活動もある。戦車道は元陸軍の相模原工場で作られた戦車の走行試験用の道路であったとのこと。

## 画と文 野尻明美 (のじりあけみ)

よみうりカルチャーセンター 講師  
一級建築士、工学博士 (東北大学)  
科学技術庁長官賞、紫綬褒章 受章  
東急ハンズ大賞クラフトの部 入選  
「水彩スケッチと10の活用術」  
日貿出版社 他技術書多数



**⑤ 上柚木公園**  
京王相模原線南大沢駅下車首都大学南大沢キャンパスの北側大栗川の左岸丘陵地に広がるスポーツ公園。広い芝生広場の頂上に展望台が備えてあり眼下に広がる180度の展望は富士山から奥多摩、秩父の山並みを展望でき八王子の市街地も遠望できる。



**⑥ 平山城址公園下**  
上のスケッチの右端の木立の中には都会とは思われない現役の棚田がある。ここは南斜面の平山城址公園の雑木林を出たところでこの湧水は大栗川へ続いている。



**⑦ 奈良原公園～宝野公園の桜並木広場**  
小田急多摩線終点唐木田駅下車、すぐに戻るように行く鶴牧西公園があり、その中にはしだれ桜を中心とした桜の公園がある。さらに東へ鶴牧東公園、奈良原公園と続いてよく整備された公園を通りさらに東へ向かうと宝野公園となるがその間は隠れた桜の名所。約1kmにわたり4列の桜並木が続きその中心は芝生広場。西のはずれには展望台がありその先に富士山がど真ん中に臨めるといってこれぞ日本の桜というような素敵にデザインされた公園がある。



**⑧ 桜ヶ丘公園**  
京王線聖蹟桜ヶ丘駅より南へ約30分 明治天皇ご行幸を記念して建てられた記念館の南側の雑木林を抜けると広い芝生広場があり、そのわきには湧水が流れる小川が流れている。この流れも大栗川へ出て、多摩川へ合流する。たまたま雪の日の朝 寒椿の朱色が美しい。大きなカメラを担いだ人以外は誰にも出会わない。



**⑨ 長池公園 見附橋**  
スケッチの背中側には小川をせき止めた小さな長池と呼ばれるサンクチュアリーがあり、その裏山は見事に手入れの行き届いた里山となっており付近住民のオアシス。正面に架かる鉄骨の見附橋は元四谷見附に掛かっていたものを移設したもの。この流れはせせらぎの道となって別所公園、蓮正寺公園と続きやはり大栗川へ合流する。



**⑩ 多摩中央公園**  
多摩センター駅の南へ延びるプロムナードを上り詰めた先にはバルテノン多摩というホールがある。その裏山は広大な芝生広場と大池が広がっており子供たちの楽園。さらにその裏には付近の旧名主宮澤家住宅があり、こちらはお年寄りの憩いのたまり場。



**⑪ 大栗川・多摩川合流地点**  
大栗川は京王線聖蹟桜ヶ丘駅の少し東で多摩川と合流する。この付近は野鳥の天国でバードウォッチングのための隠れ小屋がある。また手前の舗装は子供のための交通公園、河原には警察犬の訓練コースのようなものが整備されている。右の崖の上は桜ヶ丘カントリークラブ。

## 多摩川に学ぶ

### イカダを作って川下り・生き物観察



八王子市東南部環境市民会議  
山岸 彰雄

八王子市東南部環境市民会議では八王子市民の方々に自然に親しみ少しでも環境に興味を持って頂きたいと、毎年7月下旬に「イカダを作って川下り・生き物観察」を開催しています。2月に竹林の整備と有効利用を兼ねて真竹を伐採、乾燥させ当日に備える作業から始まります。八王子市の広報に掲載されると午前中で締め切りとなる人気イベントです。募集は小学生3年生以上と保護者同伴の15組を原則にしています。

午前中は親子でイカダを組立、皆初めての経験に戸惑いながら作業を進めています。子供たちと保護者の方は竹とロープを使って組み立て、小さな子供たちは浮き袋を膨らまし底にパンク防止のゴムテープを貼る作業、親子の協力、組立の楽しさ、難しさを体験して頂きます。お父さんの頼もしさを実感する良い機会と考えています。

イカダを完成させた後は早めの昼食を取り、ライフジャケット、ヘルメット等の装着の仕方、安全上の注意と川の危険性の説明しイカダを浅川に運びます。

保護者の方にイカダを押さえてもらいながら乗ろうとするが、バランスを取るのが難しく最初はなかなか



上手く乗れません。何とか乗っていいよ川下りの始まり、子供たちの顔が一瞬輝く時です。竹竿を使いながら一人前に漕いで（実際は後ろでコントロールしているのです）川を下る。お父さん方がまた上流へと引き上げる（お父さん方はさぞお疲れでしょう）。数回川下りを繰り返すうちに子供たちはイカダの乗り方をマスターします。自信がついたら急流下り（ミニ・ラフティング）にチャレンジして貰います。次は仰向けになって流れに身を任せ川下りを楽しみます。プカプカと浮いて楽しんでいる子供達はいきいきとしています。なかなか止めようとはしません。合図のホイッスルでしばし休憩。

水分補給のあと、魚や水生生物が何処にいそうか教えてもらい生き物採集に取組ます。コイ、ウグイ、アブラハヤ、シマドジョウ、ナマズ等の魚やクロスジギンヤンマ、ハグロトンボ等のヤゴ、カワゲラ類、カゲロウ類の幼虫を川の中を行ったり来たり夢中になって獲っていきます。バットやバケツ



の中は直ぐにいっぱいになります。採取の後は生き物に詳しい会員から、何が取れたか、生き物の生態等の説明を聞きながら観察、終了後は川に戻します。

アンケートには、日頃関心がなかった浅川の生き物の多さ、川のきれいさに感心し、川遊びの楽しさを満喫された意見が多く寄せられています。

テレビゲーム（バーチャル）より自然（リアル）の中で遊ぶ楽しさ、奥の深さのきっかけづくりとして、また東南部環境市民会議を認知して頂くイベントとしても続けて行きたいものですが、会員の高齢化が進み、何時までこの人気イベントが続けられるかが今後の課題でもあります。

最後に八王子市環境部環境政策課、会場を提供して頂いているエコひろば、真竹の伐採に協力頂いている宇津貫みどりの会の方々に感謝致します。

## 多摩川散歩

### 「多摩川自然めぐり 美しい生きものたちとの出会い」 を出版して

NACS-J 自然観察指導員  
森林インストラクター

藤原 裕二

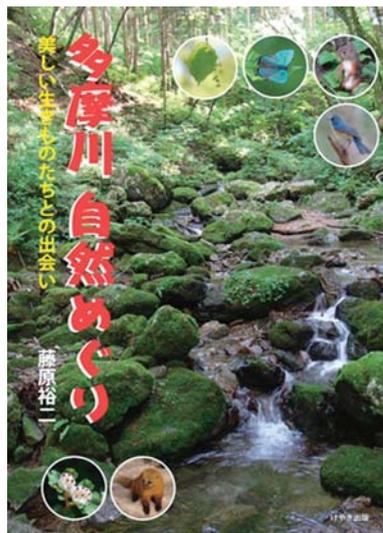
奥多摩での登山や多摩川での釣りをして、私は自然好きになりました。学生時代からのことで、会社員になってからは新たにバードウォッチングをはじめ、さらに10年程前には多摩川周辺のいろいろな場所を巡って様々な自然体験しました。その結果を、自然の中の楽しみ方を紹介する「多摩川あそび」(けやき出版)という本にまとめました。

ちょうどその頃、自然保護協会(NACS-J)の自然観察指導員の講習を受け、「自然をありのまま観る」という姿勢を教えてくださいました。潜入観念をもたずに目の前の生き物や風景を観ることで、驚きや気づきから自然を理解するということです。それからは野鳥だけでなく、植物、昆虫、哺乳動物などなんでも見ようと歩くようになりした。いろんな自然を観てくると、有名な多摩川も、場所や自然について、世間には一部しか知られていないと感じ、多摩川周辺の生の自然の姿を表現してみようと考えました。そのときまた機会があり、NACS-J自然観察指導員東京連絡会(NACOT)の会誌に「多摩川で知った自然」という連載を始めました。その6年間の連載を編集し、本にしたのが「多摩川自然めぐり」です。内容の特徴は次のとおりです。

多摩川の源頭から河口までを50のテーマに分け、様々な自然の姿、生き物との出会い、そして自然と人間との関係を表現しました。例えば、源流の水干沢、流域最高峰唐松尾山、天然のブナ林、人を寄せ付けない溪谷、日原の巨樹、鳩ノ巣や御岳付近の溪谷、横沢



多摩川中流と筆者(八王子市、バックは大岳山)



表紙(御岳山ロックガーデン。円内は、チドリノキ、ゼフィルス、ニホンリス、ルリビタキ、ハナネコノメ、テン)

入など里山の様子、自然が残る高尾山、福生付近で自然を楽しむ、自然体験フィールド水辺の楽校、グリーンベルト玉川上水、緑の孤島狭山丘陵、多様な生き物が棲む多摩川河口など。

東京近くでも美しい動植物が生きていることを見て、実際の写真とともにたくさん紹介しています。例えば、コマドリやルリビタキ、クマタカなどの野鳥、ムササビ、ニホンザル、テンなどの哺乳動物、オオムラサキ、アサギマダラ、ゼフィルスなどの蝶、スミレの仲間、ハナネコノメなどの草花、ブナやミズナラなどの樹木、アユや溪流魚など。

自然活動で知った東京近くの里山の宅地開発、護岸開発、雑木林の衰退など環境問題について実際に見たことを書いています。

私が参加した様々な自然観察会の様子や初めて自分が自然観察会でインストラクトした体験談も紹介しています。

この本では、単に多摩川周辺の自然の紹介だけでなく、実際の生き物と自然の関係を表現したつもりです。その背景にある思いは、「生物多様性」について身近な例で人々に知ってもらいたいということです。書き始めた頃には、生物多様性という認識はなかったのですが、自分は専門性がなく、見るもの、聞くものはなんでも吸収しようと思いました。その結果、多様な生き物を知り、それらがつながって自然がなりたっていて、人間もそのつながりの中にいるという自然感をもてました。そして、より多くの人々が、身近な生き物を楽しみ、自然を大切にするようになればと願うようになりました。

けやき出版 TEL: 042-525-9909

HP: <http://www.keyaki-s.co.jp/>

筆者 HP: <http://homepage2.nifty.com/fuji-san/>

# 歴史／多摩川

## 京浜間海と化す



NPO 法人多摩川エコミュージアム  
理事長 長島 保  
(地域史研究家)

テーマの語句は、100 余年前の明治 43 年 (1910) 8 月 12 日付けの『横浜貿易新報』(現神奈川新聞の前身) が報じた多摩川大水害の見出しだ〔図版〕。それは、

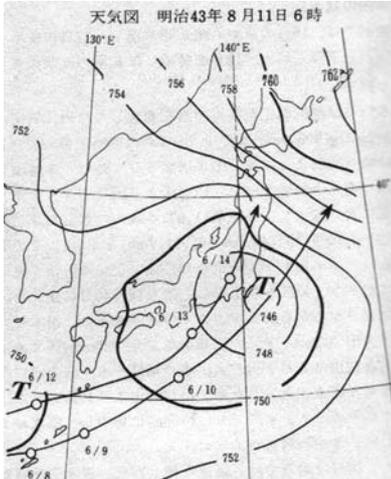


①大水害を伝える新聞夕刊〔一部編集〕

幕末の安政 6 年 (1859) 以来、「五十年来の大洪水」と報じられ、のちに近代史上最大の水害といわれるものであった。しかも三年前にも、大水害に見舞われ、多数の人びとが災害の痛手から立ち直れない状

況にあったのだ。

この大水害、8 月 1 日から二週間にわたって本州南岸に停滞した梅雨前線が、連日降雨をもたらしていたところへ、二つの台風が並んで通り、記録的な降雨となって引き起こされた〔図版〕。二週間にわたる総降水量は、箱根山中で 1,500 ミリに達し、他の山岳部では 1,000 ミリを越え、平野部でさえ 500 ~ 600 ミリに及んだ。



②『神奈川県災害誌』から

このため、関東各地の河川はいずれも氾濫し、流域沿岸に未曾有の大水害をもたらした。関東 7 府県のなかでは、東京府の被災状況が最大で、市部・郡部合わせて浸水家屋が 186,627 戸にのぼり、浸水面積は 1 万 9,053 町歩に達した〔『東京日日新聞』、もちろん多摩川

も、いたるところで氾濫、堤防決壊を引き起こし、濁流が流域一帯を駆けめぐった。上流水源地帯の丹波山での総雨量は 517 ミリ余で、先の 40 年水害時には及ばなかったが、8 月 10 日の集中豪雨がすさまじかったため、先の水害を越える記録的な被害をもたらすこととなった。

多摩川下流の流量は、上平間 (中原区) で最高水位 7.6 ㍎までを観測したが、観測機が押し流されてしまい、最高水位は不明のまま。多摩川流域での被災範囲は 55 町村に達し、氾濫面積は 1 万 500 町歩を越えた。

立川付近から上流はいまだ無堤地のまま。そこで平野面はほとんど浸水し、沿岸各所で砂礫の侵食・堆積が引き起こされ、田畑の埋没・流失が続出した。福生、拝島付近では、河道が大きく移動してしまい、行政界が不明となった。右岸上流では、中野島や登戸 (多摩区) で堤防が決壊して、旧稲田・生田・高津 (多摩区 ~ 高津区) の各村が浸水し、濁流は溝口・高津 (高津区) 方面にまで押し寄せた。中流部の丸子・平間 (中原区) では堤防の切れ目から溢水して大氾濫と成った。

下流域では、右岸の旧御幸村南河原 (幸区) で堤防が決壊、現在の幸 ~ 川崎区の町村は殆んど水浸しと成った。洪水流は旧河道づたいに平野面を横断し、鶴見川の氾濫水と合流した。

一方対岸東京側でも、当時の矢口村や六郷村で堤防が決壊し〔写真〕、両村はもちろん、蒲田・大森・羽田の諸町村を含んだ現大田区の低地すべてが冠水した。その結果、北は大森、南は鶴見に至る多摩川下流域低地は、一面の氾濫水で覆い尽され、まさに冒頭の「京浜間海と化す」ありさまとなった。川崎町では 1700 戸が浸水し、175 人の町民が、学校や寺院などの避難所に収容された。被災地を視察訪問中だった根本助右衛門川崎町長の小船が横転して、町長が水中に投げ出され、あわや溺れるところを救助されるという一幕もあった。

東海道線や京浜電鉄が不通となり、木橋の六郷橋も流木や砂利船が橋脚にひっかって湾曲し、通行禁止となった。農作物の被害も甚大で、名産の梨や桃など大打撃を受け、多数の田畑が埋没流失した。

多摩川沿岸の住民は、この明治末期に二度にわたる大水害に見舞われ、塗炭の苦しみを味わったのだ。



③破堤した六郷村の古川堤 (横山宗一郎「歴史と風景一大田区カメラ散歩」から)

## インフォメ 多摩川

多摩川流域の各種団体等の3月から6月頃まで行われる環境活動に関する主な行事・イベント情報を紹介いたします。

### ☆ 美しい多摩川フォーラム

- 第6回多摩川一斉水質調査実施(6月2日)
  - 25年度調布市環境フェア出展(6月8日)
  - 多摩川“水”大学講座(6月21日:国分寺市ひかりプラザ501号室)
  - 美しい多摩川フォーラムの森(青梅)下刈りイベント(6月29日)
  - 多摩川っ子(第6号)発行(7月上旬)
  - 狛江古代カップ第23回多摩川いかだレース参加(7月14日:狛江市)
  - 多摩川“水”大学講座(7月19日:国分寺市ひかりプラザ501号室)
  - 第6回子どもカヤック体験教室開催(7月20日:青梅市)予備日27日
  - 多摩川1万人の清掃大会参加(8月4日:青梅市)
  - 第5回炭焼き体験と水辺の交流会開催(8月23日:青梅市)予備日26日
  - 多摩川“水”大学講座(9月20日:国分寺市ひかりプラザ501号室)
- (問合せ先) 美しい多摩川フォーラム事務局(青梅信用金庫 地域貢献部内)  
 担当: 宮坂/土方/及川  
 TEL: 0428-24-5632 FAX: 0428-24-4650  
 E-mail: forum@tama-river.jp URL: http://tama-river.jp

### ☆ 多摩川源流研究所 NPO多摩源流こすげ・源流研究所・源流大学関係イベント

#### 25年度源流体験教室

- \*主催 NPO法人多摩源流こすげ・多摩川源流研究所
- \*協力 小菅村役場・多摩川源流大学
- \*場所 小菅村村内

- |  |  |
|--|--|
| <p>山梨県立ろう学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 7月10日(水)11日(木)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> <p>三鷹市社会教育会館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 7月25日(木)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> <p>バオバブ幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 7月25日(木)26日(金)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> <p>狛江水辺の楽校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 7月26日(金)27日(土)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> <p>稲城青少年委員会(朝田さん)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 8月3日(土)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> <p>矢口小お父さんクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 8月4日(日)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> <p>福生水辺の楽校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 8月4日(日)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> | <p>宮内中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 8月5日(月)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> <p>府中水辺の楽校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 8月8日(木)午後</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> <p>昭島市環境課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 8月11日(日)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> <p>玉川中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 8月12日(月)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> <p>かわさき水辺の楽校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 8月17日(土)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> <p>とどろき水辺の楽校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 8月24日(土)25日(日)</li> <li>・場所 小菅川源流</li> </ul> |
|--|--|

(問合せ先) 多摩川源流研究所 担当 中村文明

TEL 0428-87-7055 FAX 0428-87-7057

E-mail genryu@ec3.technowave.net.jp URL: http://www.tamagawagenryu.net

### ☆ 川崎市域水辺の楽校

#### (事業予定表)

	かわさき水辺の楽校	とどろき水辺の楽校	だいし水辺の楽校
6月	6月9日(日) 二ヶ領せせらぎ館草刈りと 魚釣り 30日 せせらぎ池の環境調査と整 備・魚とり	23日(日) 草木染め・かっぱの川流れ (世界で一枚の幸せのハン カチ作り) 流れ流れて安全管理	22日(土) 干潟遊び
7月	15日(祝) 多摩川本流での投網うち (アユとりと試食)	21日(日)ミツカン水文化 塾(ガサガサ体験・草木染) 28日(日) 川崎市カヌー教室 雨天は8月4日(日)	20日(土) 干潟遊び
8月	3日(土) 生田緑地探検・宙と緑の科 学館見学 17日(土)・18日(日) 奥多摩サマーキャンプ	11日(日) 川崎フロンターレ・川崎市 生活環境事業所協働事業 多摩川エコラシコ (清掃活動) 24日(土)・25日(日) 源流体験教室 山梨県小菅村平山キャンプ 場 渓流体験・農業体験・BB Q・温泉など	24日(土) ロープ遊び
9月	23日(祝) 多摩川土手の植生調査	23日(祝) 多摩川土手の植生調査	28日(土) ハゼ釣り

\*天候などの状況により日時・内容を変更する場合があります。

(問合せ先) 川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課(044-200-2268)

川崎水辺の楽校(044-911-2154)とどろき水辺の楽校(090-5814-9604)だいし水辺の楽校(044-287-7882)

### ☆ 多摩川大学ふれあい移動水族館

6月1日 土 多摩川ジュニアガイド/アユの遡上観察会/二ヶ領上河原堰/要申し込み

6月2日 日 多摩川美化活動 稲田堤/9時~ /自由参加/参加無料/ボランティア募集

6月2日 日 おさかなポストエサやり体験/11時30分~12時/自由参加/参加無料

6月6日 木 多摩市民会「多摩の伝承・伝統文化研究会」講演会/川崎市多摩区市民館/10時~12時/参加無料/要申し込み

6月7日 金 川崎市立登戸小学校 アユ放流体験/10時~/見学可/要申し込み

6月9日 日 多摩川ジュニアガイド/外来魚観察会/二ヶ領上河原堰/要申し込み

6月13日 木 長野県伊奈小学校修学旅行 多摩川学習会/おさかなポスト/9時から/見学可/要申し込み

6月15日 土 狛江楽しい授業サークル講演会/狛江第三小学校 14時~16時/要申し込み

- 6月16日 日 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料
- 6月22日 土 多摩川ジュニアガイド / 自然観察会 / 多摩区二ヶ領上河原堰付近 / 要申し込み
- 6月23日 日 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料
- 6月28日 金 調布FM 83.8MHz / タマゾン川 / 15時~
- 6月29日 土 多摩川ジュニアガイド / 自然観察会 / 多摩区二ヶ領上河原堰付近 / 要申し込み
- 6月30日 日 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料
- 7月6日 土 多摩川ジュニアガイド / 自然観察会 / 多摩区二ヶ領上河原堰付近 / 要申し込み
- 7月7日 日 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料
- 7月13日 土 多摩川ジュニアガイド / 自然観察会 / 多摩区二ヶ領上河原堰付近 / 要申し込み
- 7月14日 日 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料
- 7月15日 月 三沢探検隊 / 自然観察会・清掃活動・環境学習紙芝居 / 多摩区二ヶ領上河原堰下集合 / 9時から12時 / 要申し込み / 参加無料 / ボランティア募集
- 7月15日 月 三沢燈籠流し / 多摩区菅天宿橋親水公園 / 18時~20時 / 自由参加 / 参加無料 / ボランティア募集
- 7月20日 土 民家園通り夏祭り / ふれあい移動水族館 / 16時~21時 / 自由参加 / 参加無料 / ボランティア募集
- 7月21日 日 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料
- 7月27日 土 川崎海洋環境教室 / 川崎市東扇島公園 / 9時~11時 / 申し込み制 / 参加無料
- 7月27日 土 二子玉川燈籠流し / 世田谷区兵庫島公園 / 17時~20時 / 自由参加 / 参加無料 / ボランティア募集
- 8月3日 土 夏休み多摩川教室 / 多摩川ジュニアガイド / 自然観察会 / 多摩区二ヶ領上河原堰付近 / 要申し込み
- 8月4日 日 二ヶ領用水燈籠流し / 18時~20時 / 自由参加 / 参加無料 / ボランティア募集
- 8月10日 土 多摩川ジュニアガイド / 自然観察会 / 多摩区二ヶ領上河原堰付近 / 要申し込み
- 8月11日 日 高津区子こども祭り ふれあい移動水族館 / 川崎市立高津小学校 / 10時~20時 / 自由参加 / 参加無料 / ボランティア募集
- 8月17日 土 多摩川ジュニアガイド / 自然観察会 / 多摩区登戸付近 / 要申し込み
- 8月18日 日 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料
- 8月24日 土 多摩川ジュニアガイド / 自然観察会 / 多摩区二ヶ領上河原堰付近 / 要申し込み
- 8月25日 日 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料
- 8月31日 土 多摩川ジュニアガイド / 自然観察会 / 多摩区二ヶ領上河原堰付近 / 要申し込み
- 9月1日 日 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料
- 9月7日 土 小平市友・遊こどもまつり ふれあい移動水族館 / 小平市役所 / 10時~14時 / 自由参加 / 参加無料
- 9月11日 水 多摩川の外来種を食べる会 / 新潟県津南町 / 要申し込み
- 9月12日 木 多摩川の外来種を食べる会 / 新潟県津南町 / 要申し込み
- 9月14日 土 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料
- 9月15日 日 多摩区たまたま子育てまつり 移動水族館 / 多摩区役所 / 10時~15時 / 自由参加 / 参加無料
- 9月21日 土 多摩川ジュニアガイド / 自然観察会 / 多摩区二ヶ領上河原堰付近 / 要申し込み
- 9月22日 日 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料
- 9月28日 土 多摩川ジュニアガイド / 自然観察会 / 多摩区二ヶ領上河原堰付近 / 要申し込み
- 9月29日 日 おさかなポスト学習会 / 14時30分~ / 申し込み制 / 参加無料

(問合せ・連絡先) 多摩川大学 おさかなポスト / ふれあい移動水族館 代表 山崎充哲  
〒214-0038 川崎市多摩区生田7-25-1

電話 044-933-3220 携帯 090-3209-1390 メールアドレス RiverRanger777@gmail.com

☆ 一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

夕涼みバードウォッチング～東京都水道局砧下浄水場付近多摩川河川敷

- ・7月27日(土) 午後5時00分～7時00分 要申込

野川せせらぎ教室～世田谷区成城四丁目付近の野川

- ・7月28日(日) 午前9時30分～11時30分 要申込

世田谷トラストまちづくりビジットセンター「身近な自然と触れ合うイベント」～世田谷区成城4-29-1(野川沿い)

- ・7月6日(土)8月17日(土)9月21日(土) 8月から原則毎月第3土曜日

午後1時30分～3時 要申込 / TEL 03-3789-6111

(申込・問い合わせ先) (一財)世田谷トラストまちづくり トラストまちづくり課

TEL 03-6407-3311 FAX 03-6407-3319

財団HP <http://www.setagayatm.or.jp/>

☆ GeoWonder 企画 むさしの化石塾 「多摩川のフィールドサイエンス」イベント日程

部屋内作業日程

- ・6月22日(土) むさしの化石塾 室内作業 化石のクリーニング作業

- ・8月24日(土) むさしの化石塾 室内作業 化石のクリーニング作業

日 時 : 14時00分～16時00分 (2時間)

場 所 : 武蔵村山市中央3-20-7 むさしの化石塾 教室内

最 寄 : 武蔵村山市役所前バス停下車徒歩3分 参加費 : 1000円

野外イベントの予定

- ・4月29日(月) 日野市栄町 連光寺層貝化石採集会 9時30分多摩都市モノレール柴崎体育館駅改札前集合

- ・5月12日(日) 日野市栄町 連光寺層貝化石採集会 9時30分多摩都市モノレール柴崎体育館駅改札前集合

- ・5月18日(土) 昭島市大神町 化石採集会 (参加希望者に別途ご案内します)

- ・7月16日(土) 日野市栄町 連光寺層貝化石採集会 (参加希望者に別途ご案内します)

- ・7月27日(土) 武蔵村山市 市民総合センター「化石のお話」(参加希望者に別途ご案内します)

事前申し込み 連絡先 : [geo@extra.ocn.ne.jp](mailto:geo@extra.ocn.ne.jp) 参加費 : 1000円

メールにて住所・氏名・学年など, 連絡先を明記の上, 送信下さい。

最新日程は「むさしの化石塾ブログ」でご確認ください。

(申込・問い合わせ先) GeoWonder企画 むさしの化石塾 代表 福嶋 徹

〒208-0003 東京都武蔵村山市中央3-20-7 MKJ事務所

むさしの化石館 042-567-1095 (FAX)

Mail: [geo@extra.ocn.ne.jp](mailto:geo@extra.ocn.ne.jp) URL : <http://fossils.blog.ocn.ne.jp/>

## ☆ みずとみどり研究会

## 第10回身近な水環境の全国一斉調査のお知らせ

- ・日 時 2013年6月2日(日) 世界環境デー(毎年6月5日)に近い日曜日
- ・測定項目 気温、水温、COD、その他(任意)
- ・測定方法 取扱説明書にもとづき、調査キットで測定

(参加申込者に2013年5月頃に配布予定)

## ・参加申込と締切り

同封の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の事務局

(みずとみどり研究会)に、2013年3月10日(日)までに必ずご送付下さい。

なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。

- ・申込受付 参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

(申込・問合せ先) 事務局 全国水環境マップ実行委員会 みずとみどり研究会気付

〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202

TEL/FAX : 042-327-3169

E-mail : mizutomidoriken@ybb.ne.jp

URL : <http://www.japan-mizumap.org>

\*お詫びと訂正 : 多摩川137号(31頁)第4回「とうきゅう環境財団社会貢献学術賞」受賞者プロフィールで原科幸彦様のお名前を(はらしな ゆきひこ)と書きましたが、(はらしな さちひこ)が正しく、お詫びと訂正をお知らせします

# 「いきものつながり」環境紙芝居 15のおはなし

## No.11 水辺の春のいきもの様子

春の水辺は、生命の息吹にあふれています。河原では、黄色のタンポポ、紫色のタチツボスミレ、ピンク色のカラスノエンドウやホトケノザなどが競い合い、ミツバチたちの気を引いて受粉してくれるのを待っています。

また、草の中では、天敵に見つからないように上手にカモフラージュされた巣の中で、ヒバリの子育ての真っ最中です。岸边には、たくさんのヒナを連れたカルガモが歩いています。

水辺は、普段水が流れていない河原も、貴重な生きものの生息場所となっています。キジやコジュケイといった歩き回ることの多い鳥類のほか、大きな河川では、キツネやタヌキといった小型の哺乳類を見ることがあります。

また、季節によってはアオダイショウや毒をもつヤマカガシ、マムシといった人間にとっては危険な生きものと遭遇するかも知れません。生きものたちの貴重な生息環境を壊さないためにも、やぶの中などには入らないように気をつけましょう。

川の流ればゆったりとしているように見えても、実際は意外と速く、大人のくるぶしあたりまでの水位があれば、水流で子どもが容易に転倒します。

川に入る場合は、安全管理のために、観察ポイントの上・中・下流側の3箇所以上の人以上の大人を配置しておく必要があります。さらに、川の流れる音は意外と大きく、川の生きもの探しに興奮し、熱中すると、子どもに声が届きませんので、ハンドマイクは必需品となります。



絵：大田黒 摩利

「いきものつながり」制作プロジェクト  
代表 下重 喜代

発行 サステナブル・アカデミー・ジャパン  
E-mail: kiyo-sun@nifty.com

### 当財団の概要 (2013年6月1日現在)

設立	2010年10月1日
主務官庁	内閣府
基本財産	978百万円
財源	基本財産等の運用収入並びに寄付金
事業内容	研究助成事業
1 研究助成	総助成件数 1,131 件 (新規 537 件, 継続 594 件) 総助成金額 1,338 百万円
2 学習支援	副読本制作配布 271 千部
印刷刊行物	研究助成成果報告書学術編 研究助成成果報告書一般編 環境副読本 (毎年) 9,000 部

【常務理事】  
【監事】  
【評議員】

中村 英 夫	東京都市大学 総長
中村 良 夫	東京工業大学 名誉教授
涌井 史 郎	東京都市大学 教授
小野木 喜 博	当財団 事務局長
岩田 哲 夫	東京急行電鉄株式会社 常勤監査役
井原 國 芳	東京急行電鉄株式会社 顧問
海老原 大 樹	東京都市大学 名誉教授
上 條 清 文	東京急行電鉄株式会社 取締役相談役
越 村 敏 昭	東京急行電鉄株式会社 取締役会長
佐々木 謙 二	横浜商工会議所 会頭
鈴木 學	株式会社 日立製作所 技監
高橋 裕	東京大学 名誉教授/選考委員長
鳥井 信 吾	サントリーホールディング株式会社 取締役副社長
水田 寛 和	株式会社 東急百貨店 顧問
山口 裕 啓	学校法人 五島育英会 理事
山田 長 満	川崎商工会議所 会頭
横 溝 英 樹	株式会社 東芝 総合営業推進部長
◎高橋 裕	◎東京大学 名誉教授
◎奥山 文 弥	◎東京海洋大学 客員教授
◎小堀 洋 美	◎東京都市大学 教授
◎小宮 輝 之	◎上野動物園 元園長
◎斎藤 潮	◎東京工業大学大学院 教授
◎新藤 静 夫	◎千葉大学 名誉教授
◎鈴木 信 夫	◎昭和女子大学 客員教授
◎田畑 貞 寿	◎(公財) 日本自然保護協会 顧問
◎土屋 十 圀	◎前橋工科大学 名誉教授
◎寺西 俊 一	◎一橋大学大学院 教授

### 役員・評議員

(敬称略 50音順)

【理事長】	西 本 定 保	東京急行電鉄株式会社 顧問
【理事】	新 井 喜美夫	当財団 元理事長
	池 島 政 広	亜細亜大学 学長
	石 渡 恒 夫	京浜急行電鉄株式会社 取締役社長
	植 木 正 威	東急不動産株式会社 取締役会長
	大須賀 頼 彦	小田急電鉄株式会社 取締役会長
	加 藤 隼	京王電鉄株式会社 取締役会長
	小 長 啓 一	東京急行電鉄株式会社 取締役
	小 沼 通 二	東京都市大学 名誉教授
	櫻 井 孝 顕	第一生命保険株式会社 特別顧問

【選考委員】◎  
(◎は委員長)

- 発行日 平成25年6月1日
- 編集兼発行 公益財団法人とうきゅう環境財団  
〒150-0002 渋谷区渋谷1-16-14  
(渋谷地下鉄ビル8F)  
TEL (03)3400-9142  
FAX (03)3400-9141  
ホームページ <http://www.tokyuenv.or.jp/>

